

2・3月の「東郷の教育」

薩摩川内市立東郷小学校

2月3日が節分、4日が立春、暦の上ではいよいよ春です。今年は、近年になく暖冬でこれから寒くなるのかと思うと、少し憂鬱になってきます。数年前のような大雪が降らないように祈るのみです。

始業式からあっという間に1か月が過ぎました。今年のインフルエンザの猛威には本当にびっくりです。私の長〜い教員生活でも初めてです。町の方ではB型が出てき始めたとのことですので、しばらくはマスク生活が続くと思います。教科の進程もなかなかなのではないかと思いますが、3学期は取り戻すことができません。未履修や積み残しがないように、また、時数の確保等もよろしくお願いいたします。休んでいる子供たちの個別指導が必要な場合は声掛けください。

いよいよ3学期も中盤・折り返し点を迎えます。日々の学習指導・生活指導をさらに充実させ、中身の濃い2・3月になることを願っています。

そして、閉校・開校までカウントダウンになりました。日々の業務をしながらの移転計画ですのでご苦勞をおかけしますが、互いに声を掛け合って協力しながら進んでいきましょう。

教児共に健康・安全に十分留意して今年度の残りの日々を乗り切りましょう。

2・3月の指針

1 学習指導

教科進程の確認や授業時数の確保、1年間の学習内容の定着をお願いします。

- 日々の学習指導の充実&それぞれの学年の基礎・基本の定着（鹿児島定着度調査・単元テスト等の補充指導、発展指導、定着の見届け）…百点チャレンジ
- 指導計画の進程や授業時数の確保…未履修、積み残し等が無いように十分留意を
テスト・ワーク・スキルなど保護者負担で購入したものは、やり残しがないように確認を。
- 家庭学習の確立に向けた指導（内容・時間等・学習時間の確保）
- 通知表・指導要録の作成・記入…誤記・記入漏れの無いように

2 生徒指導

子どもの心に届く生徒指導・夢や希望・感謝の心の醸成をめざしましょう。

- あたたかな人間関係育成の指導継続（人権感覚を身に付けた児童の育成）
- 心のこもったあいさつ・返事・言葉遣い（君・さんをつける）…重点的に指導
- 基本的な生活習慣（9時間睡眠・忘れ物ゼロ等→家庭との連携・個別指導→病気の予防）
- 後始末・整理整頓の励行（トイレのスリッパ、衣服・給食着、机の中・ロッカー等）
個人の道具は、使用が終わった段階で計画的な持ち帰りを。
- 進級・進学→感謝の心、自分の進路を考えさせる機会に。（東郷小への感謝）

3 保健・安全指導

厳寒期の健康・安全指導、さらには寒さに負けない気力・体力づくりの充実を！

- 寒さや病気に負けない気力・体力づくり…持久走・なわとび等の練習の積み重ね、朝の体力づくり、目標設定や具体的な進め方の指導、外遊びの励行
- 風邪・インフルエンザ・感染性胃腸炎等の予防指導…石けん手洗い、うがい、水分補給、せきエチケット、マスクの活用、日常の健康管理、規則正しい生活（十分な睡眠時間、栄養管理など家庭と連携した指導）、罹患した場合の指導
- 休み時間の換気の励行…休み時間ごとに窓を開け、空気の入れ換えの継続、加湿
- 事故・怪我の防止…気が緩みがちな季節、危険予知能力の育成を。（自分で考える習慣）

※ 交通規則違反（スピード・一旦停止・携帯電話所持・シートベルト等）、寒冷時の交通事故防止（凍結、濃霧等）に努めましょう。

※ 学年度末の校務の円滑な処理…公簿等の記入・取扱い・管理、会計の処理、備品・教材等の確認・整理、教科書等の整理、確実な引継

※ 適正な勤務時間の管理…体調管理

読書の効用

○想像力・創造力がつく ○集中力がつく ○読んでいると落ち着く ○語彙が増える
○読む能力や読解力がつく ○読書を通して他の人の考え方を理解すること、他人の人生を知ること
ことで感受性を養うことが出来る。○読書を通して自分の知らない世界を知ることが出来る
等々

以下のような利点？があるのではないのでしょうか。

- (1) 読んでいると落ち着きます。
 - (2) 語彙が増えます。
 - (3) 忍耐力がつきます。(内容の難しいものや分厚いものなどを読む場合かな？)
 - (4) 読む能力がつきます。
 - (5) 内容を理解する力(読解力)がつきます。
 - (6) 想像力がつきます。(場面をイメージすることで)
 - (7) 創造力がつきます。
 - (8) 集中力がつきます。
- などなど。いろいろと出てくると思います。

最近では小学校なんかでも「朝の10分間読書」が取り入れられ、何でもいから好きな本を読む時間を設けてあるそうです。朝に10分間本を読むだけで集中力が高まり、授業に入りやすいそうです。

また、読書を通して他人の考え方を理解すること、他人の人生を知ることによって感受性を養うことなどに役立つと言われています。

冒険なんて普通に生活していたら全く縁がないですが、物語の中ではわくわくドキドキが満載ですよ。そんな本を読むことで「わくわくドキドキすること」を学べますよね。

闘病記を読んで、どんなハンディを持ってても精一杯生きることによって人生はいくらでも輝くということを学べますよね。

推理物を読んで、物事を論理的に考えることを学べますよね。

色んな体験をしたり、感情を大きく動かされたりすることが少ない人生に潤いを与えるものが読書だと思っています。

ちなみに、「朝の10分間読書」を実行している学校ではいじめがないそうですよ。集中したらすっきりするから、ストレスがなくなるからでしょうか。

最近の殺人事件なんかでは殺人犯が読んでいた小説なんかを嬉しそうに報道していますが、だからなに？って感じです。その人は教室で浮いていたから、本を読むことしかすることがなかったんじゃないですか？本を読んだから殺人を犯すなんて、こじつけすぎです。